

ペットフード向け利用の拡大

- 捕獲鳥獣の利活用として、ペットフードの利用が増加。令和4年度のペットフードとしての利用は664トンでジビエ利用量全体の約3割を占める。
- 今後は、依然として捕獲現場で廃棄されている個体や、処理加工施設に搬入された個体においても、食肉販売できない肉や、内臓、皮、骨等の未利用部位をペットフードとして有効活用し、ジビエ利用量の拡大を図る。

ヘルシーで注目の ジビエペットフード!

お手軽な加工品から手作りペットフードまで、幅広く楽しめる食材

鹿肉ジャーキー



お求めやすく、手軽にジビエを試すには鹿肉ジャーキーがおすすめ!栄養価はそのままに、旨味を凝縮。

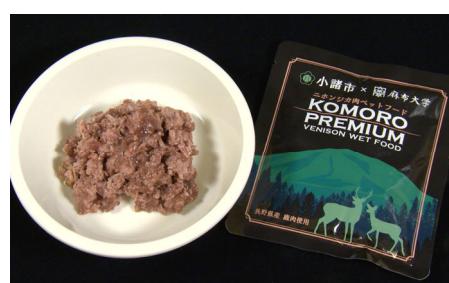
手作りペットフード



お肉を購入し、野菜や他の食材と合わせて栄養のバランスを取れる手作りペットフード。肥満の解消にもオススメです!



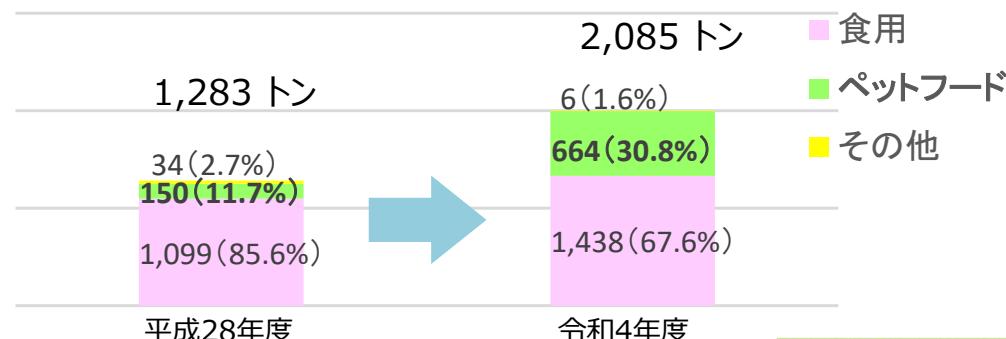
ジャーキー
(くまもと☆農家ハンター)



ウェットフード
(小諸市野生鳥獣商品化施設)

ジビエペットフードプロモーション事業 ポータルサイト「ジビエト」より

捕獲鳥獣のペットフード利用の動向



(出典) R4野生鳥獣資源利用実態調査

捕獲鳥獣のペットフード利用に向けた課題

食肉としての衛生管理が遵守された高品質な肉

衛生的に問題ないが
血抜き不良、においが強い等
食肉利用に向かない部位や個体

- 衛生的に問題のある肉
- 病気など異常のある肉

食肉利用

ペットフード利用

廃棄



ジビエペットフード原料に関するマニュアル

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/petfood.html>

- ペットフード利用が可能な品質レベルの明確化
- ペットフード製造事業者のニーズに応じた原料の製造方法の情報提供 など

捕獲鳥獣の皮、骨、角等の有効利用の取組

- 捕獲鳥獣の利活用として、骨や皮を加工して製品化するなどの取組事例や、最近では動物園において、餌利用や屠体給餌※といった取組も行われている。

※大型動物を毛皮や骨が付いた、ほぼそのままの状態で飼育動物に与える給餌すること。

皮革としての利活用例



エゾシカのクラフト製品
(古川建設(株)ドリームヒル・トムラウシ)



イノシシ革製品(ファーストシューズ)
(一社)伊達市農林業振興公社)

骨製品・角製品としての利活用例



シカ骨灰を活用した陶器やシカ革製品
(株)メリケンヘッドクオーターズ)



シカ角のアクセサリー
(獵師工房ランド)

動物園・水族館でのエサとしての利活用例



ライオンへの屠体給餌
(豊橋総合動植物公園)



ホッキョクグマへの屠体給餌
(男鹿水族館GAO)

○詳しい情報や上記以外の利活用例は、HPで紹介中！

👉 <https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/jirei.html>

